

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
18	°	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・ISO14001:2015認証取得			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	°	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・ホームページにて環境理念、環境方針、環境活動を公開している http://www.syd-tech.jp/company/index02.php												12.6					
20	°	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・社用車に2000年からハイブリッド車を採用							7.2						13				
21	°	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・金属材料調達時は、使われている鉱物に紛争鉱物が無いよう、精錬業者までさかのぼって調査実施(コンフリクト・ミネラル調査)、方針をホームページに公開 http://www.syd-tech.jp/conflict/												12.2	13	14	15		
22	°	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・汚職・贈収賄・不正競争の禁止について、「SYD-CSR 3.2事業の誠実性、3.8贈答・接待」に規定している																	16 16.5
23	°	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・不正競争、癒着などの禁止について「SYD-CSR 3.3 不当利得の禁止、3.9個人的利益相反」に規定している																	16
24	°	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・知的財産の保護について「SYD-CSR 3.4知的財産権」に規定している									8.2 8.3	9							
25	°	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・個人情報保護法などの対応について「SYD-CSR 3.6 個人情報」に規定している																	16
26	°	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・精錬業者までさかのぼって調査実施(コンフリクト・ミネラル調査)、方針はホームページに公開 http://www.syd-tech.jp/conflict/																	16
27	°	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・環境活動の協力要請をしている					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	°	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・「SY003:製品安全適用規定」を定め、運用している			3.9									12.4					
29	°	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・品質マネジメントシステムを構築し、維持管理している。・IATF16949(自動車品質規格)認証取得、ISO9001自己適合宣言										9							
30	°	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・生分解性プラスチック(PBS)による製品開発中						6						12	13	14	15		
31	°	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・生分解性プラスチック(PBS)による製品開発中	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
生分解性プラスチック製品開発によるプラスチック汚染の防止	・生分解性プラスチックを使ったゴルフティーを開発、一般販売予定（2020年3月予定）。それを足がかりに、生分解性プラスチックを使った製品開発ノウハウを蓄積し新たな製品へ展開予定												12		14	15		
人材育成を通じた社員の能力と働く意欲向上	・社員1人1人の向上意欲をくみ取り、技能検定への挑戦を促進。のべ75名の有資格者あり				4.4				8.2 8.5									
廃棄物の削減、省資源活動推進による環境貢献	・IATF16949、ISO9001、ISO14001を経営に融合、それらをベースに不良品削減活動、廃棄物のリサイクル化、省エネの推進を実施、年間約1,000万円前後の経済効果実績あり												12		14	15		

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）